



3月3日は「耳の日」音にまつわる話

遅くなる？

寒い日は音が

音は空気を波のように揺らして耳に伝わってきます。この空気の温度が変わると、なんと音が伝わる速さも変わってしまいます。

音が伝わる速さを「音速」と言います。空気を1秒で約331mも進むスピードです。でも、これは気温が0℃の時の速さ。

1℃上がるごとに音速はさらに0.6mも早くなります。



だから暖かければ暖かいほど、速くなります。これは空気の動きが原因。暖かいと良く動き、寒いと鈍くなります。

気温で伝わり方が変わるので、いつもの音も、聞く時間や季節の違いで変化があります。学校のチャイムや花火の音などの聞こえ方が違うかもしれませんよ。



動画の中の自分の声、どうして違って聞こえるの？

動画に映る自分が話している声を聞いて、「これが自分の声？」とびっくりしたことはありませんか？実は、周りの人に聞こえているあなたの声は、その「動画の声」のほうなのです。なぜかという、声の伝わり方には2通りあるためです。



骨伝導

脳

①空気から伝わる

声が口から出た時に空気が震え、その振動が鼓膜に伝わって聞こえる。

②骨から伝わる

声を出す時に声帯が震え、その振動が頭蓋骨を伝わって聞こえる。

周りの人には①の音だけが聞こえますが、自分には①と②の両方が聞こえます。だから、自分だけ違って聞こえるのです。



空気伝導

授業中にぐう〜なんの音？

静かな時に鳴ってしまうと、ちょっぴり恥ずかしいお腹の音。お腹が鳴るのは、ご飯を食べてからだいたい3~4時間後、おおよそ食べたものが消化された頃です。胃の壁が活発に動いて食べもの



のカスを腸へ送る時に、中にある空気が動いて音が鳴ります。つまり、胃が中をお掃除している音なので「正常に動いているよ」というサインなのです。ただ、早食いしたり、しゃべりながら食べたりした時は、食べものと一緒に空気も胃に入って音が鳴りやすくなります。もし食べた後早くに音が鳴るとい人は、よくかんで食べることを意識してみると、音が減るかもしれません。

笑うと、体に侵入したウイルスや細菌をやっつけてくれるナチュラルキラー細胞がパワーアップ！風邪などにかかりにくくなります。



免疫力アップ！

笑って体も心も元気

自分もみんなも幸せに！



笑うと、脳から幸せホルモンが分泌されてプラス思考に。笑っているあなたを見た周りの人もきっと笑顔になります。

保健室から

「春を感じる陽気となりました」

うらかな春の日差しの中、そよ風が吹き渡る様子を「風光る」と表現します。そんな日は、フワフワした気持ちで外に出たくなりますが、まだまだ油断は禁物。3月は寒暖差が大きく、「春嵐」や「春疾風」と呼ばれる強風が吹き荒れ、急に冷え込むことも。上着を持ち歩いたり重ね着をしたりして、風邪をひかないようにしましょう。

